

本時のねらい

- can と can't の発音の違いを意識して、相手にできることやできないことを伝える。

本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- 授業支援ソフト（SKYMENU Cloud）の発表ノートを用いて単語カルタをすることで、短い時間で楽しみながら英語の表現を覚える。
- 生徒が意見を発表ノートに記入し、大型モニタで共有することで、様々な意見の交流ができる。

活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- 授業支援ソフト（SKYMENU Cloud） ・大型モニタ
- 学習者用デジタル教科書（開隆堂「SUNSHINE ENGLISH COURSE 1」）

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○帯活動 Greeting~Hello, class! What's the date today? Music (英語の歌) New Words ○動詞表現カルタ SKYMENU Cloud を使って動詞表現カルタ（授業者の発声を聴き、iPad 上で内容に合うカードをスライドして自分の陣地に運ぶ）をする。【写真 1】 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽曲の動画を大型モニタに映すことで、全生徒と一緒に歌うことができる。 ○大型モニタに英単語を大きく映すことで、生徒がつづりに注目しながら英単語を読むことができる。 ○SKYMENU Cloud へのログイン、グループワークの開始などは、班長が責任をもって班員の状況を確認し、先生に伝える。 ○発表ノートの協働学習機能を使い、生徒はそれぞれの iPad に向かい、共有シート上のカルタを取り合うことができる。
展開 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ○can と can't 発音を聞いて、聞き分け方をみつける。 I can play baseball. / I can't play baseball. 発表ノートに気づいたことを書き、クラスで交流する。【写真 2】 ○can と can't の発音の違いを説明し、一緒に発音する。【写真 3】 	<ul style="list-style-type: none"> ○発表ノートを用いて、先生の発音が can か can't かを選ぶ。 ○全員の解答を大型モニタに表示し、ほかの生徒の答えも見られるようにする。積極的に答えることが大切であり、間違えても構わないことを伝える。 ○気づいたことを、それぞれの言葉で自由に発表ノートにメモし共有することで、クラス全体で交流する。
まとめ (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書 Listening, Scenes リスニング問題に取り組むこと、実際に会話をしてみることで、本時に学習したことを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時で学習したことの実践と確認をする。紙の教科書とデジタル教科書の、使いやすい方を使うように声をかける。

1 人 1 台端末を活用した活動の様子

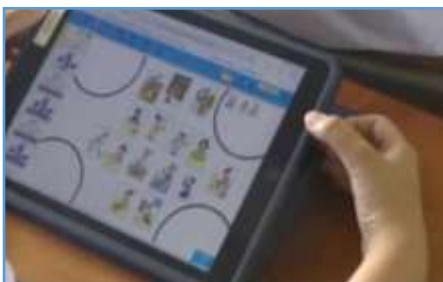


写真 1：SKYMENU Cloud の発表ノートを使った動詞表現カルタをする様子



写真 2：生徒全員の画面を大型モニタに一覧表示している様子



写真 3：一人の生徒の意見を大型モニタで表示して全員で共有する様子

児童生徒の反応や変容

- カルタはみんなが知っていて楽しめるゲームのため、SKYMENU Cloud の発表ノートを用いて新しい形のカルタを実現した。生徒はカルタを取るために、先生の声に集中している姿があり、楽しみながら英語表現を身につけられているように感じた。
- 全生徒の意見を iPad を通して共有し、大型モニタに投影することで、手を挙げて発言しづらかった生徒の発言を促すことができた。正直に「わからない」と表現する生徒もいて、困っている人がいることに生徒同士で気づき、学び合いにつなげることができるようになった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- iPad を有効に活用することで、「みんなで学習している」という意識を持たせたい。
- 画面共有を使うことで、意見の発信の場を増やし、授業を通して生徒が互いを知る機会をつかっていきたい。